

成人の10~20%を占めるとい
高血圧症の患者さん、ご注意を!

高血圧とは?

高血圧とは、健康な状態の血圧として定められた基準値より血圧が高い状態。血圧が140/90mmHg以上が高血圧。そして、この状態が常態化している方が高血圧症の患者さんです。高血圧症は、遺伝や生活習慣(食塩の多い食事、アルコール、肥満、運動不足)が複合して起こるものがほとんどです。血圧が高いとその圧力に耐えるために血管が固くなり(動脈硬化)、心臓、脳、腎臓などのさまざまな臓器に病変が生じやすくなります。日本の高血圧症の患者数は成人の10~20%、約2000万人ともいわれ、近年ますます増加傾向にあります。



歯科治療と血圧の関係って?

歯科の治療前や治療中に、緊張してドキドキする方は多いものです。こういうときは健康な方でも血圧が上昇しますが、高血圧症の全身疾患をお持ちの患者さんの場合は、血圧の数値がさらに上がりやすいのです。ふつう「歯科の治療は命に関わらない」と思われていますが、高血圧症がうまくコントロールされていない患者さんの場合、歯科の治療がきっかけで血圧に変動をきたし、重篤な事態にいたる可能性すらあるわけですから、歯科医院では、初診のときに問診表にお書きいただき、治療に際してより適切な配慮ができるよう努めています。また、歯科医師が全身疾患の病歴や重篤などについてお尋ねすることもあります。安心・安全な歯科治療を患者さんにお届けするためにたいへん重要なことですので、ぜひご協力をお願いいたします。



特集

高血圧の患者さんへ!

全身疾患と歯科治療

昭和大学歯学部
顎口腔疾患科顎外科学教室主任教授
新谷 悟

歯の治療が好きの方って
まずいないと思います。
それでもがんばって受診なさっているのですから
「今日はどんな治療なのかな?」とドキドキし
血圧が上がるのも無理はありません。
だからこそ、安心・安全な歯科治療を
受けていただくために、
どうしても、知っていただきたいことがあります。

歯医者さんで 血圧上昇!?

イラスト by 佐々木純子/フクロクワガタ

血圧のコントロールが うまくいっていないときに 歯科の治療を受けると その緊張でさらに血圧が上がって 危険なことがあります!



歯の治療が好きという方は決して多くありません。口の中をいじられるのが嫌いな方も多くいます。不安や恐怖心が精神的なストレスとなつて、自律神経系や内分泌系を介して血圧を上昇させてしまうのです。もうひとつ、血圧上昇の原因として考えられるのが、歯の痛みによるストレスです。日常生活の中で、歯が痛かったり、口内炎ができたとき、入れ歯の具合が悪くてイライラしたり、眠れなくなったり、食事ができなくなったりすると、血圧が上昇することがあります。痛みや不安感がストレスになり、血圧をコントロールしにくくなってしまいます。

歯痛や生活改善でコントロールがうまくいっていない、ちょっとした歯科治療でも、緊張が引き金になって重篤な事態を起すことがあります。そこで高血圧症の病状によっては、十分に安全に治療ができる血圧にコントロールされるまで治療を延期させていただいたり、全身の管理ができる病院の口腔外科などを紹介することもあります。

思わぬトラブルを避けるためには、日頃から内科で高血圧症の治療を受け、血圧をコントロールすることはもちろん、歯科を受診する際には、「歯だけの治療だから」と軽く考えず、高血圧症であるかを確認し、歯医者に伝えることが大切です。また、内科の主治医にも「歯科治療を受けたいがどうでしょうか」と相談することをおすすめします。

それではこれから、高血圧症の患者さんが安全に歯科治療を受けるための大切なポイントについて詳しくお話ししていきたいと思います。日本人の成人の10~20%が高血圧症だといわれています。ぜひ、ご参考にしてみてください。

歯の治療で 血圧が上がる!?

Q 高血圧と歯の治療に関係があるなんて不思議な感じがします。歯の治療って、口のなかのことだけじゃないんですか?

歯科治療は全身疾患と関係ないと思われがちですがこれが意外と、一概にそうともいえないのです。たとえば高血圧症の患者さんは、治療するときの緊張で血圧がさらに上昇しやすく重篤な事態を引き起こしかねません。

A 歯科の治療をする際にも、細やかな配慮が必要で、ときには治療を延期したほうがよい場合もあるのです。

「歯の治療が好き」という方は決して多くありません。口の中をいじられるのが嫌いな方も多くいます。不安や恐怖心が精神的なストレスとなつて、自律神経系や内分泌系を介して血圧を上昇させてしまうのです。もうひとつ、血圧上昇の原因として考えられるのが、歯の痛みによるストレスです。日常生活の中で、歯が痛かったり、口内炎ができたとき、入れ歯の具合が悪くてイライラしたり、眠れなくなったり、食事ができなくなったりすると、血圧が上昇することがあります。痛みや不安感がストレスになり、血圧をコントロールしにくくなってしまいます。

歯痛や生活改善でコントロールがうまくいっていない、ちょっとした歯科治療でも、緊張が引き金になって重篤な事態を起すことがあります。そこで高血圧症の病状によっては、十分に安全に治療ができる血圧にコントロールされるまで治療を延期させていただいたり、全身の管理ができる病院の口腔外科などを紹介することもあります。

思わぬトラブルを避けるためには、日頃から内科で高血圧症の治療を受け、血圧をコントロールすることはもちろん、歯科を受診する際には、「歯だけの治療だから」と軽く考えず、高血圧症であるかを確認し、歯医者に伝えることが大切です。また、内科の主治医にも「歯科治療を受けたいがどうでしょうか」と相談することをおすすめします。

それではこれから、高血圧症の患者さんが安全に歯科治療を受けるための大切なポイントについて詳しくお話ししていきたいと思います。日本人の成人の10~20%が高血圧症だといわれています。ぜひ、ご参考にしてみてください。



by Dr. 新谷 悟
昭和大学歯学部
顎口腔疾患科顎外科学教室
主任教授